

エリザベト音楽大学 創立75周年記念演奏会 Vol.1

PROGRAM

細川俊夫：冥想-3月11日の津波の犠牲者に捧げる-

J. シュトラウスII：春の声

R. シュトラウス：オーケストラ伴奏による歌曲集より「アモール Op.68-5」「あした Op.27-4」

C. グノー：オペラ『ロメオとジュリエット』より「私は夢に生きたい」

北爪道夫：サイド・バイ・サイド ~打楽器とオーケストラのための

R. シューマン：ピアノ協奏曲 イ短調 Op.54



指揮／太田 弦



ソプラノ／小林良子



打楽器／小川裕雅



ピアノ／久保千尋



管弦楽／
広島交響楽団

2023.3/10 (fri.) 18:45開演 (17:45開場)

広島文化学園HBGホール(広島市中区加古町3-3)

入場料／前売り 2,000円(当日 2,500円) **全自由席**

前売券取扱い および お知らせとお願い

※入場券の販売はぴあのみとなります。

ぴあ各店(Pコード219-944)

WEB⇒<http://pia.jp/t> [PC/携帯]

店頭⇒セブン-イレブン「マルチコピー機」

チケットの右半券に、次の2件を予めご記入ください。

◎**ご来場者のお名前(姓、名)** ◎**日中連絡のつく電話番号**

新型コロナウイルスの感染者が判明した場合にのみ、所管の保健所等に開示してご連絡することがあります。いただいた個人情報は一定期間保管したのちに適正に廃棄します。ご協力ご了承お願いいたします。

コロナ対策としてホール内にご入場いただける人数には制限がございます。上限に達した場合は入場券の販売を中止させていただきますので、あらかじめご了承ください。

※ご来場は公共交通機関をご利用ください。また、開演中の客席への出入り及び演奏会場内での写真・録音・録画は固くお断りいたします。

※小学生未満のお子様のご同伴、ご入場はご遠慮ください。

主催：エリザベト音楽大学 中国新聞社

お問い合わせ：広島市中区鞆町4-15 エリザベト音楽大学 学事部演奏活動 Tel 082-225-8004(直通・平日9:00~16:30)

082-221-0918(代表) E-Mail: enso01@eum.ac.jp <http://www.eum.ac.jp>





指揮 太田 弦 Gen Ohta, Conductor

1994年北海道札幌市に生まれる。幼少の頃より、チェロ、ピアノを学ぶ。東京芸術大学音楽学部指揮科を首席で卒業。学内にて安宅賞、同声会賞、若杉弘メモリアル基金賞を受賞。同大学院音楽研究科指揮専攻修士課程を卒業。2015年、第17回東京国際音楽コンクール(指揮)で2位ならびに聴衆賞を受賞。指揮を尾高忠明、高関健の両氏、作曲を二橋潤一氏に師事。山田和樹、パーヴォ・ヤルヴィなどの各氏のレッスンを受講する。これまでに読売日本交響楽団、東京交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、札幌交響楽団、群馬交響楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団、大阪交響楽団などを指揮、今後さらなる活躍が期待される若手指揮者筆頭。2019年4月から2022年3月まで大阪交響楽団正指揮者を務める。2021年2月、オクタヴィア・レコードより交響曲 第8(9)番 長調 D944「ザ・グレイト」(新日本フィルハーモニー交響楽団公演ライブ収録)をリリース、新型コロナウイルスによる緊急事態宣言明けに行われた公演の緊張感の中、太田のエネルギー溢れる「グレイト」が聴衆の話題をさらった。2023年4月より仙台フィルハーモニー管弦楽団指揮者に就任。



ソプラノ 小林良子 Yoshiko Kobayashi, Soprano

エリザベト音楽大学声楽学科卒業、同大学院修士課程修了。在学中にクリスマスチャリティーコンサート、卒業演奏会、大学院新人演奏会にソリストとして出演。2006年ロータリー財団国際親善奨学生としてウィーンへ留学、プライナー音楽院リート・オラトリオ科にてDiplom取得。2009年ウィーン国立音楽大学研究課程リート・オラトリオ科修了。声楽を小野村和弘、品川喜久子、故白石敬子、アデーレ・ハースの各氏に、歌曲解釈をワルター・モーア氏に師事。第10回大阪国際音楽コンクール歌曲-U部門第一位、グランドファイナルにおいてグランプリ受賞。第八回藤沢オペラコンクール入選。日唄文化協会フレッシュコンサート2010年度において最優秀賞受賞。第156回日演連推薦新人演奏会にて広島交響楽団と共演。現在、広島を中心にリサイタル、オペラ、コンサートへの出演の他、様々な演奏家との共演など、県内外で精力的な演奏活動を展開している。オペラでは「魔笛」夜の女王・パミーナ、「フィガロの結婚」スザンナ、「イドメネオ」イリア、「ラ・ボエーム」ムゼッタ、「カルメン」フラスキータなど出演。また、ベートーヴェン「第九」、モーツァルト「戴冠ミサ」、バッハ「ロ短調ミサ」など宗教曲のソリストも務める。エリザベト音楽大学准教授。



打楽器 小川裕雅 Hironori Ogawa, Percussion

東京芸術大学卒業。在学中より在京オーケストラへのエキストラ出演等の演奏活動を展開。2000年、読売日本交響楽団カナリア諸島音楽祭及びヨーロッパツアーに参加。大学卒業と同時に活動の拠点を広島に移し、これまでに6回のソロリサイタルを開催。2004年、ソロパーカッションアルバム「Generous Tone~おおらかな響き~」を発表。打楽器全般を有賀誠門、岡田知之、菅原淳、安本由美子の各氏に師事。またドラムとラテンパーカッションを金子安延、折田吉弘、石川武の各氏に師事。第7回浜松国際管楽器アカデミー&フェスティバルにおいてライナー・ゼーガース氏(ベルリンフィルハーモニー管弦楽団首席ソロティンパニスト)のクラスを修了。広島交響楽団や九州交響楽団、岡山フィルハーモニック管弦楽団などへの打楽器奏者としての客演、オペラ公演やバレエ公演ではオーケストラ・ティンパニ奏者として演奏活動を展開。打楽器講習会講師として中四国各地から招かれ、吹奏楽コンクールやマーチングコンテスト、アンサンブルコンテストにおいては審査員を務める。エリザベト音楽大学准教授。



ピアノ 久保千尋 Chihiro Kubo, Piano

京都市立芸術大学音楽学部を京都音楽協会賞、音楽学部賞の両賞を得て首席で卒業。東京芸術大学大学院音楽研究科を修了。大学院在籍中に渡独。ハンブルグ音楽演劇大学にて、E.Koroliov氏に師事。Diplom、Konzertexamen(国家演奏家資格)両過程を、それぞれ最優秀の成績で修了。ウィーン国立音楽大学、コインブラ国際アカデミーにて研鑽を積む。シューベルト国際音楽コンクールを始めとする国内外のコンクールにて上位入賞を果たす他、松方音楽賞等、様々な音楽賞を受賞。日本のみならず、ハンブルグ、ウィーン、パリ、リスボン等、ヨーロッパ各地でのソロリサイタルの他、数多くの室内楽のコンサートに出演、共演者からの信頼も厚い。またソリストとして、ハンブルグ交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団、京都市交響楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団等と共演。その演奏は、NHKや北ドイツ放送(NDR)等で度々放送され、高く評価される。エーベル財団(ドイツ)、財団法人ルームミュージックファンデーション両奨学生。2014年秋より、活動の拠点を日本へと移し、演奏活動と後進の指導にあたる。平成28年度下関市芸術文化振興奨励賞受賞。ハンブルグ音楽演劇大学ピアノ科講師を経て、現在エリザベト音楽大学専任講師。

管弦楽 広島交響楽団 Hiroshima Symphony Orchestra

国際平和文化都市“広島”を拠点に“Music for Peace~音楽で平和を~”を旗印として活動するプロオーケストラ。2017年より下野竜也が音楽総監督を務め、その意欲的な音楽づくりが注目を集めている。クリスティアン・アルミンクが首席客演指揮者、秋山和慶が終身名誉指揮者を務めるほか、ウィーン・フィル、コンサートマスターのフォルクハルト・シュトイデをミュージック・パートナーに、細川俊夫をコンポーザー・イン・レジデンスに、マルタ・アルゲリッチを平和音楽大使に迎えている。1963年「広島市民交響楽団」として設立、1970年に「広島交響楽団」へ改称。学校での音楽鑑賞教室や社会貢献活動にも積極的に取り組み、地域に根差した楽団として「広響」の愛称で親しまれる。公式Web <http://hirokyo.or.jp/>

エリザベト音楽大学は2023年に創立75周年を迎えます

第82回定期演奏会

2023年
11月20日(月)

指揮：下野竜也
演奏：エリザベト音楽大学
交響楽団 ほか



©Naoya Yamaguchi



創立75周年記念コンサートシリーズ 第2回演奏会

2023年
11月23日(木・祝)

指揮：下野竜也
ソリスト：本学専任教員
演奏：広島交響楽団



©Naoya Yamaguchi



広島交響楽団

宗教合唱曲集 Vol. II 刊行予定

S.ドブログス、新実徳英、
袴場富美子、三浦則子、
細川俊夫、それぞれの
先生方の作品を所収予定



創立75周年記念誌 発行予定

50周年記念誌以降の四半世紀の歴史を編纂
した記念誌を発行予定

お問い合わせ／
エリザベト音楽大学 学事部演奏活動
Tel 082-225-8004 enso01@eum.ac.jp